



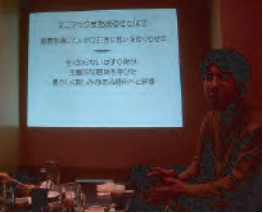
GroundScapeDesign youth  
\*  
Kyusyu DesignCharrette  
\*  
Young Engineer, Architect

## プレゼン 街・風景・作品を肴にして、 美味しい酒を呑むー

参加者全員にお願いした宿題は「『自分のしている仕事』『好きな街・風景・モノ』について、スライドを作ってくること」。1次会は馴染みの居酒屋にプロジェクターを持ち込み、各自のスライドを壁に投射、ビール片手にプレゼンしていった。

なんとも面倒な宿題にも関わらず、誰も手を抜いていなかった。むしろ日頃忙しい人こそ、やたら凝ったプレゼンをする傾向があった。多くの人が持ち時間(3分)を大幅に越えながら、熱く語っていた。プレゼンは予想を越えて盛り上がる事ができた。

なんたって、街・風景・作品を肴に呑む酒は美味かった！プレゼンをしていると「この人知ってます?」「この場所で仕事したことある!」なんて思わぬ会話も生まれ、人の繋がりが見えてきた。共通の知り合いがいて仲良くなることはよくある話。さらに、共通の「場所」を通して知り合えるというのは実に我々らしいアプローチだったと思う。



●最優秀プレゼン  
投票の結果、上田さん(GSDy 大阪)が選ばれた！観光化されていない街の、マニアックな街あるき(まにあるき)の魅力を語ったプレゼンは、誰もわからないマニアックぶりにも関わらず、不思議な笑いと共感を生んだ。

## 趣旨 地方から、若手から できることを語りたいー

2008年12月20日、名古屋某所。中部&関西圏のGSDy(グランドスケープデザインユース)、KDC(九州デザインシャレット)を中心とした20代の有志、総勢16名を集めた懇親会を開催した。

志ある仲間を集めて、地方から、若手からできることを語りたい。それをどう切り出したらいいものか。人づてに募った参加者は名古屋だけでなく、大阪や東京からも駆けつけてくれる。社会人も学生もいる。分野も土木・建築・環境とそれぞれ。そんな16人16色のメンバーが同じテーブルにつくために、まず自分自身を語ってもらうところから始めなければいけないと感じた。そのための仕掛けとして、参加者には事前にちょっとした「宿題」をお願いしていた。

幹事：佐々木哲也 (GSDy 名古屋)	参加者：16名 (途中参加者も含む)
石原大作 (GSDy 名古屋)	
手島史恵 (GSDy 名古屋)	GSDy : KDC : 若手有志 8 : 2 : 6
村木正幸 (GSDy 大阪)	土木 : 建築 : 環境 1 2 : 3 : 1
大谷友香 (GSDy 東京)	中部 : 関西 : 東京 1 2 : 3 : 1
野呂有佳子 (KDC 名古屋)	社会人 : 学生 1 3 : 3

## 提言 手を動かすこと、 アウトプットし続けることー

1次会以降、参加者は減ったり(なぜか)増えたりしながら、ゆるく朝まで続いていった。砕けて笑いあった2次会に続き、3次会は再びガチな語らいの場になった。

大討論の末、趣意である「地方から、若手からできること」について確かな答えはまとまらなかったものの、「手を動かすこと、アウトプットし続けることが大切」という共通認識をもつことができた。具体的な企画として、GSDyの描き初めやコンペへの参加、まにあるきの開催などがあがったが、ひとまず片っ端からやってみようということで、この日はお開きとなった。

ちなみに、この集まりについて、グループ名も次回開催時期も決めていない。集まりを形骸化させないため、あえて未定のまま残した。今後は、企画したい人が有志を集め、その度に企画とグループをセルフビルドしていけばいい。その下地をつくれたことが、この会の最大の収穫であったと思う。

ともかく、名古屋から、大阪から色々仕掛けてきます。これからの我々のアウトプットに乞うご期待。 文責：佐々木 (GSDy 名古屋)



飲み会に参加し、同じ若手でこんなスゲーやつらがこんなにいるのか！！？とかなり刺激になりました。次の会は、野呂が幹事～ということなので、精一杯バックアップするつもりです。また盛大にやりましょう☆  
(若手有志 玉野総合コンサルタント(株) 石黒啓介)

思い返せばコース発足時は「これから何かが始まる！」というワクワク感たっぷりでしたが、2年半経った今は「まだ何も始まっちゃいない」という良い意味での焦りと欠乏感があります。そんなエネルギーを地方から放出していると思ったし、このメンバーなら出来ると思えた夜でした。  
(GSDy パシフィックコンサルタンツ(株) 石原大作)

先日の飲み会で、GSDy というのは、個人個人のモチベーションを前提とした組織であって、組織の存在ありきで議論されるべきものではない、ということを確認しました。初対面の人たちであだけの熱い議論繰り広げられるということは、GSDy という枠組みが無くても、人が集まるきっかけがありさえすれば良い、ということだと思います。大切なのは組織ではなく個人だ、ということですね。

みんなのプレゼンには個性があって、今回の企画の成功要因は、きっとプレゼンをしたことにあると思います。ただ、聞いている人にわかってもらおうという気が感じられないものはいくつかあったのは気になりました。GS の原点の思想でもあるコラボレーションは、異分野との対話なので、難しい内容だから伝わらなくて良い、というのは大きな間違いだと思います。

個人的には「まにあるき研究会」でも立ち上げて、路上観察学会に負けられないような、マニアックだけど、人々がなんとなく理解できるという活動をしていけたらと思います。そして、いずれ報告書みたいなものがつくれたらいいと思っています。GSDy は、単なるきっかけなので、スピンオフ企画としての「まにあるき」を是非、企画したいと思っています。(GSDy (株) 日建設計シビル 上田嘉通)

例えば「まち」について議論しても、個々の思いが熱く強いいため、意見は錯綜し、話はいろんなところに行ったり来たりする(酔っぱらっていたせいもあるかもしれないが)。けど、今回集まった1人1人が自分にはとても刺激的で、くすぶっている自分の背中を後押しされた気がした。

若手、地方・・・見つめる先は果てしないけど、その前にまず、自分が何をやりたくて、そのために今の自分に何ができるのか、何をやらなければならないのか・・・今一度じっくり考えてみたいと思う。  
(GSDy 中央コンサルタンツ(株) 大島敦之)

企画していただいた佐々木さんに誘われて、ただこのためだけに東京から名古屋に行きました。学生であるが故のお金のなさを撥ね返されるくらいに、名古屋から熱意が感じられたからです。事前に課された宿題をしている時から何故かウキウキして、当日が待ち遠しくてたまりませんでした。

コアメンバーに入れていただき、少し早めに集まって事前打ち合わせ。飲み屋のおばちゃんに遮られながらも最終調整。そして本番。ほぼ全員がプレゼンの時間を無視して語るほど、参加者の熱い思いはとどまることを知らず、1 次会のほとんどの時間をそれに費やしたような気がします。何事にも手を抜かない参加者に頭が上がりません。ユースメンバー外で初対面の方とも和気藹々と飲んで食べて笑えた 1 次会でした。

場所を移して 2 次会・3 次会は、和やかだったり真剣だったり、私自身が最近忘れていた「ユースらしさ」を取り戻せたような気がします。世間話から徐々に真面目な議論に変わり、時間がたつのも忘れるくらいに白熱していました。

議論する相手がいる、真剣に話を聞いてくれる相手がいる、ダメだったことはダメだったと言ってくれる相手がいる、今後のことを語り合える相手がいる・・・これが私の思う「ユースらしさ」です。楽しいだけじゃない、馴れ合いじゃない。時には衝突することも必要。近づけばかりじゃ絆は緩むだけ。時には引っ張り合い、涙を染み込ませた方が固い絆になる。たとえその時のショックが大きくとも。

地下鉄の始発くらいの時間に解散となり、私は帰路に就きました。名古屋を離れることが無性に寂しかったです。最初は何故だか分かりませんでしたが、ずっと考えているうちに見えてきました。東京が地方より冷めていることが。全くの私の主観です。でもそう感じたのは事実です。私がぬるい代表だからかもしれないなど、一人で反省会を開きました。悔い改めます。

名古屋に行ったことは、私にとってとてもいい刺激になりました。場を仕切っていたいただいた佐々木さんをはじめ、機材を全て準備してくれたふみちゃんこと手島さんなど、頼もしいメンバーが関西・中部にいて、とても嬉しく思います。絶対またやりましょう。ありがとうございました。  
(GSDy 東京工業大学大学院 大谷友香)

この集まりの今後については「提言」に書いた通り。次回の幹事は野呂さん、まにあるきは上田さんが名乗り出てくださった。感謝。この2人に限らず、どんどん企画を持ち寄って、その企画自体がコンペのように、常に新しいものをアウトプットしていけたらいい。残念ながら今回参加できなかった仲間も巻き込みながら、とにかく仕掛けていきましょう。

最後に、集ってくれた16人の仲間に心からありがとう。しばらく、しんどい時期が続くけれど、暖かくなる頃にまた集いましょう。  
(GSDy 中央コンサルタンツ(株) 佐々木哲也)

先日の会はとても楽しく、刺激になりました。機会があればまたお会いし、話したいです！とりとめの無い乱筆ではございますが、要するに、今後ともよろしく願います!! (若手有志 玉野総合コンサルタント(株) 大家英一)

今回は、ほんとに楽しかったーの一言でした。初めて会った人ばかりだったのに懐かしい感じと、ものすごい新鮮さが混ざり合って、居心地のいいへんな感じでした。微力だけど、GS とシャレットで交流できてよかったと思うし、今までは、「シャレットっていいよね～」って漠然と思ってたことを、今回、言葉にしたり、pp に表そうとしたけど、ぜんぜんうまく伝えられなかったときに、余計に参加してよかったって実感がありました。

声を掛けてくれたてっちゃんに感謝。それから、有志のみんなにも、GS のみんなにも。また、集まって濃い話ができたら嬉しいです。  
(KDC 玉野総合コンサルタント(株) 野呂有佳子)

短い時間でしたが、モチベーションの高い人たちのなかで会話をできたことをうれしく思いました。聞くところによると各人まちづくりについてプレゼンをしたとか。じっくり聞いてみたいものです。  
(若手有志 (株) 国際開発コンサルタンツ 橋本大輔)

先日は、楽しい会に参加させていただき、有難うございました。少々アウェイで緊張しましたが、皆様の色々なお話が聞けて、とても楽しかったです。

私は、建築系の学部で都市計画を専攻していましたが、今回の会で最も感じたことは、建築と土木での価値観の違い、でした。(皆様重々感じられていることかと思いますが…あらためて) 考え方、物事に対するアプローチ方法… etc 異分野が交わることで生まれる刺激は、将来にも、個々の仕事のモチベーションにも重要な要素になりうるように感じます。

これが、小さな飲み会の酒の肴で終わらずに、アウトプットとして形になることに大きな期待を抱きました。形にしてこそ価値がある。議論はその序章にすぎない。そう思います。名古屋での良い出会いに感謝いたします。(若手有志 ピーエス工業(株) 藤澤由加)

私は GSDy 会員でありながら、関西に住んでいるため、活動に参加する機会が少ないことを残念に思っていました。ですから、今回は比較的近くで中部&関西会を開いてくださってありがとうございます。

今回は1次会のみでの参加でしたが、1部のプレゼンテーション、2部のフリーディスカッションともに、参加メンバーの個性あふれる意見を聞くことができ、とてもよい刺激になりました。特に今回は社会人1年目の方の参加が多く、就職活動中の私にとっても参考になる会社やお仕事のお話も聞かせていただきまして、感謝しております。と同時に、日頃の不満やプライベートでの活動の様子なども聞こえ、熱い思いを持って活動していってほしいなことが伺えました。

さて、地方からできること、って何があるんでしょうか。きっと、今回は通過点に過ぎませんでしたが、メンバーのプレゼンと意思をお聞きして、地方も捨てたもんじゃないと実感しました。好きな建築・まちのプレゼンでも、山村や川、田園風景、島などを挙げていた人が多かったですし、そういった場所に触れて、感性を高める機会が多いのも地方の魅力ではないでしょうか。それを外の人にプレゼンする機会ってなかなかないですし、地方から発信できるといいですね。

また、関西でもこのような会が開催できることを望んでおります。それを継続することで、地方からの行動ができると信じております。  
(GSDy 大阪大学大学院 丸橋温美)

今までのGSDy の集まりと何かが決定的に違った。名古屋で開かれたGSDy のイベントを振り返ってそう思う。

おそらくそれは単純に、集まったメンバーの熱意だったような気がする。もともと、集まったメンバーは以前から意識が高く、その志や行動力に随分と刺激をもらってきてはいた。けれども、今回集った彼らからは今まで以上の熱意を感じた。

その理由、それはおそらく「理想とのズレ」なのではないだろうか。集まったメンバーのおそらく全員が、今名古屋や大阪にいて希望していたわけではないのだと思う。仕事内容や情報量、そして出会う人、様々な側面での環境に満足できないような気がした。少なくとも自分は名古屋にいた時そう感じたし、今大阪で暮らしていてもそう感じる。大阪に来たことで仲間を失い、普段感じることにいえば漠然とした恐怖以外の何物でもない。自分で何かしないと、自分が何かしないと、手を動かさないと、そんな思いが日々脳裏を過ぎっている。

きっと幹事の佐々木さんも、そして集まったメンバーもそうなんじゃないかな。だから飲み会でも「次何をするか」という話に終始したのだ。「地方からできること」、この問題についてきちんと考えてみることも大切だとは思う。ただ、敢えて考えずに動いてみるはどうだろうか？ 圧倒的な切迫感に振り回される形で。

最後に、日々の切迫感を大いに煽ってくれた幹事の佐々木さんに心から感謝したい。(GSDy (株) 日建設計シビル 村木正幸)

このネットワークづくりが、個々人の強い武器になり、そしてより良いまちづくりに繋がると思います。(若手有志 (株) 国際開発コンサルタンツ 高橋敬宗)

※敬称略。編集の都合上、原文の一部を修正し、掲載した。

# 感想

## \* 地方から、若手から、できることを語る。